

社 会 科 学 習 指 導 案
単元名「第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方」

令和〇年〇月
2年 指導者 佐藤 淳

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、地理的分野(3)日本の諸地域において、①「自然環境を中核とした考察の仕方」について九州地方を取り上げて構成されたものである。九州地方は各地に点在する火山や南西諸島に代表される島しょ部などを取り上げ、自然環境に関する特色ある事象を中核として、防災対策や再生可能エネルギー利用の促進など、自然環境と共存する人々の営みについて分析・考察する活動に適している。また、本県同様に豊富な温泉資源の活用や、東アジア諸国との地政学的なつながりを生かした産業のあり方などについて追究していくことも重要となる。このように、九州地方は自然環境を中核に人々の暮らしや産業における諸課題について比較したり、また、エネルギー利用の変遷を例に持続可能な社会の在り方について考えたりする素地を養うことに適した地域であるといえる。

2 研究との関わり

本研究は、ESDの視点を用いて、社会につながる学びに生きる力の育成を目指すものである。まず、ESDの視点に立った学習指導で重視する七つの能力・態度の育成を意図的にねらった単元構想を行い、その上で学習過程に対話を中心とした協働的な学びを段階的に位置づけている。また、ESDの視点を取り入れた学習管理シートを用いることで、教科の学びにとどまらず、広く社会で応用可能な汎用性のある能力や態度について実感させ、育成することを目指している。

本単元では、学習課題を設定後、自然環境がもたらす人々の暮らしへの影響に視点を当てて、安中市でも行える取組について考え・議論・提言する活動を行う。その中で、現代社会の問題を主体的に捉え、身近な課題を発見・追究・解決する過程を経験することにより、生徒の価値観や行動の変容につながることを期待できることから、本研究の目指す生徒の育成につながると考えられる。

3 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・九州地方の自然環境の特色や関連するその他の事象、抱えている課題について理解するとともに、選択した資料について調べたりまとめたりできるようにする。	・個々の事象について時間をかけ、丁寧に理解しようとする生徒が多い。 ・これまでの学習活動を通して多くの資料の読み取りや活用について経験を積んできた。
思考力、判断力、表現力等	・九州地方の自然環境や関連する事象について人々の暮らしや産業、抱えている課題や解決策などを有機的に結び付け、多面的・多角的に考察、表現できるようにする。	・社会的事象について複数の側面から考察することができる生徒もいる。 ・時間や空間のつながりなど広い視野に立って事象を捉え考察する経験を積んできている。
学びに向かう力、人間性等	・九州地方について、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。	・自らの学びを振り返ったり見通しをもったりすることのよさを感じている生徒が多い。

4 評価規準

知識・技能	・九州地方の自然環境の特色や関連するその他の事象、そこで生ずる諸課題などについて理解している。 ・九州地方について、資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べたりまとめたりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・九州地方について自然環境を中心に域内の事象の結び付き・人々の暮らしなどに着目し、そこに生ずる課題を有機的に結び付けて多面的・多角的に考察、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・見通しをもって学習に取組、課題を追究しようとしている。 ・他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を目指して課題の解決に向けて主体的に追究しようとしている。

5 指導計画

(1) 授業実践 I (全6時間計画)

過程	時間	ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ [記]：記録に残す評価 ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<p>■九州地方の自然環境を概観し、地形・気候の特色を捉えられるようにする。</p> <p>□資料を基に九州地方の様々な事象に出合うとともに、その傾向や特色について話し合う。また、諸資料を基に学習課題を作成する。（★）</p> <div> <p>[本時のめあて] 九州地方の自然環境などについて調べ、単元の課題を立てよう。</p> </div> <div> <p>[単元の学習課題] 自然環境を生かしたよりよい地域づくりの取組は、どのように行われているのだろう。</p> </div>				<p>●◆地図や雨温図を読み取り、九州地方の地域的課題について見通しをもつことができる。</p> <p>＜活動の様子（態）＞</p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>②未来像を予測して計画を立てる力</p> <p>③多面的・総合的に考える力</p> </div>
	2	<p>■「自然環境」を中核に人々の生活や産業について理解するとともに地域の課題と関連付けて整理することができるようにする。</p> <p>□九州地方に関する様々な事象について、「見方・考え方」を働かせて整理する。また、事象の因果関係や関連性を考えてウェビングマップに表現する。（★）</p> <div> <p>[本時のめあて] 九州地方の自然環境は、どのような特色ある生活・営みにつながっているのだろう。</p> </div>				<p>●◆九州地方の自然環境を生かした産業や取組について、様々な情報を調べ、まとめている。</p> <p>＜マップ（知） [記]＞</p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>③多面的・総合的に考える力</p> <p>⑤他者と協力する態度</p> </div>
追究する	3	<p>■「自然環境」を中核に人々の生活や産業に関する事象を関連付け、課題に対する自分の考えを表現（考察）することができるようにする。</p> <p>□ウェビングマップにまとめた内容を基に、自然環境を中核にして人々の生活や産業についての自分の考えをまとめる。（★）</p> <div> <p>[本時のめあて] 九州地方の人々は、自然環境を生かしてどのような取組をしているのだろう。</p> </div>		○		<p>◆調べた情報やウェビングマップを基に、自分の考えを組み立てて表現している。</p> <p>＜記述（思）＞</p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>③多面的・総合的に考える力</p> <p>⑦進んで参加する態度</p> </div>

まとめる	4	<p>■単元の課題について、他者との対話を通して自分の考えをよりよい内容に補完・修正できるようにする。</p> <p>□課題に対する考え（考察）を他者と共有し、様々な角度から修正や追加を行ってよりよいものにしていく。</p> <div> <p>[本時のめあて]</p> <p>意見交換を通して、自分の考え（考察）をブラッシュアップしよう。</p> </div>	●	<p>◆自分の考えをよりよくするために見通しをもち、対話活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p><記述（思） [記] ></p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>①批判的に考える力</p> <p>⑤他者と協力する態度</p> </div>
	5	<p>■結論を活用してよりよい社会の実現について議論する活動を通して、身近な地域の在り方について考えられるようにする。</p> <p>□課題について他者と議論する活動を通して、よりよい結論を導く。また、「安中市として今後どうあるべきか」という視点で議論し、提言内容をまとめる。</p> <div> <p>[本時のめあて]</p> <p>九州地方の取組を、他地域（安中市）で生かしていくにはどうすればよいのだろうか。</p> </div>	○	<p>◆学習してきたことを生かして提言する内容について話し合い、表現している。</p> <p><スライド・記述（思） ></p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>①批判的に考える力</p> <p>②未来像を予測して計画を立てる力</p> </div>
	6	<p>■九州地方の学習を通して学んだことを基に、今後の安中市の在り方について自分たちの考えを発信できるようにする。</p> <p>□九州地方の取組をモデルに、今後期待される安中市の取組について提言する。（★）</p> <div> <p>[本時のめあて]</p> <p>九州地方の学習を通して考えた「安中市の自然環境を生かした取組」について提言しよう。</p> </div>	●	<p>◆よりよい社会の在り方について、主体的に追究・解決しようとしている。</p> <p><活動の様子・動画（態） ></p> <div> <p>活用する ESD の能力・態度</p> <p>④コミュニケーションを行う力</p> <p>⑥つながりを尊重する態度</p> </div>

【単元の学習課題 2】

（九州地方の取組に学んで）安中市の自然環境を生かした取組は今後どうあるべきか。


II 第1時の学習

- ねらい 資料を基に自然環境を概観する活動を通して、九州地方の地形や気候の特色を捉えられるようにする。

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 九州地方について知っていることを共有して、イメージをもつ (15分) S：暖かい、桜島、くまもん、博多ラーメン…： 住みやすそう 観光が盛ん 東京が遠い</p> <div> <p>くめあて・課題・見通し等></p> <p>九州地方（の自然環境など）について調べ、単元の課題を立てよう。</p> </div>	<p>○九州地方について多面的・多角的に捉えられるように、適切な資料提示する。 (Visit Kyusyu 他)</p> <p>◎学習前の実態を把握・共有するために、テキストマイニングを活用する。</p> <p>◎協働的な学びを生み出すために、積極的に他者との意見交換を取り入れる。</p>
<p>2 雨温図や地図などを基に九州地方の地形や気候について読み取り、自然環境の特色を概観する。 (15分) (★読み取った内容はGoogle スライドに記録)</p> <p>S：雨温図の見方は大事だな。</p> <div> <p>九州地方の自然環境の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海に囲まれている・大陸に近い・火山が多い ／地図より ・温暖な気候で全体的に夏の降水量が多い ／雨温図より </div>	<p>○資料を正しく読み取れるよう必要十分な時間を充て、必要に応じて段階的に説明する。</p> <p>◎九州地方の特色に生徒が捉えられるように、具体例を交えながら「見方・考え方」を働かせ方について支援する。</p> <p>◎自然環境と人々の生活を関連付けて捉えられるように、記述の仕方について必要に応じて助言する。</p> <div> <p>それぞれに言えること</p> <p>強み（魅力）← 事象 →弱み（課題）</p> </div>
<p>3 読み取った特色を踏まえ疑問や追究したいことについて話し合い、学習の見通しをもつ。 → 単元の学習課題を立てる (15分)</p> <p>S：九州の魅力とは一体何だろう。</p> <p>S：強みと弱みは何だろう。</p> <p>S：群馬県や安中市との共通点はあるのかな。</p> <div> <p>活用するESDの能力・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ②未来像を予測して計画を立てる力 ③多面的・総合的に考える力 </div>	<p>○単元を通して追究する適切な学習課題を設定するために、<u>必要に応じて生徒の発言をファシリテート</u>する。</p> <p>◎人々の工夫による課題の解決やよりよい社会の実現に向けた取組に意識を向けられるように、<u>適宜課題設定の視点を補足</u>する。</p> <div> <p>◆評価項目</p> <p>九州地方の地域的課題について見通しをもっている。<活動の様子（態）></p> </div>
<div> <p>[単元の学習課題]</p> <p>自然環境を生かした（よりよい）地域づくりの取組は、<u>どのように行われているのだろう</u></p> </div>	
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 (5分) S：九州の人はどんな暮らしをしているのかな。</p> <p>S：自然環境を生かした暮らしについてもっと知りたいな。</p>	<p>◎学習内容や自身の頑張りをていねいに評価できるように、振り返りシートの項目を工夫し、十分な時間を確保する。</p> <p>○正しく学びの成果を蓄積するために、「学習管理シート」の使い方について必要に応じて説明や補助を行う。</p>

第2時の学習

- ねらい 資料を基に調べたり整理したりする活動を通して、九州地方の自然環境と人々の生活や産業を関連付けて整理できるようにする。

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分) S：九州地方はどんな暮らしなのか知りたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて・課題・見通し等> 九州地方の自然環境は、どのような特色ある生活・営みにつながっているのだろう。</p> </div>	<p>○自然環境を中心に事象を整理・関連付けられるように、前時で読み取った「4つの特色」を学級全体で確認する。</p> <p>○生徒が実態に応じて活用できるように、本単元を通して理解すべき語句・事象の一部を資料にして配布する。(Google スライド)</p>
<p>2 「見方・考え方」の働かせ方とウェビングマップの作成方法について全体で確認する。(10分) S：「見方・考え方」って、どういうことかな。 S：「見方・考え方」って案外便利だな。</p>	<p>○個別の追究活動が円滑に進むように、活動の初めは教師主導で一斉にウェビングマップの作成を行う。</p> <p>○全員が各々の「見方・考え方」を働かせることができるように、具体例を示し必要に応じて個別に支援する。(学習管理シートの裏面を活用する)</p>
<p>3 「自然環境」を中核に人々の生活や産業に関する事象をウェビングマップに整理する。(30分) (★マップはGoogle スライドに保存)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>S：農業は気候だけでなく土質も重要だな。 S：火山の関連が多いな。 S：火山と温泉というと、群馬みたいだな。 S：韓国近いとか羨ましい。でも、困ることは？ S：南西諸島はやっぱり魅力的だな。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>ウェブマップ内にこういったコメントを残す→「考察に活用」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>活用するESDの能力・態度 ③多面的・総合的に考える力 ⑤他者と協力する態度</p> </div>	<p>◎事象同士を結び付けながら自然環境に関わる人々の営みに着目できるように、マッピングの工夫について電子黒板に掲示する。</p> <p>○効率的に作業が進むようにマップをスライドで配布し、活動の途中で適宜取組の様子を電子黒板で紹介する。</p> <p>○円滑な活動につながるように、数人の生徒のマップを電子黒板で例示する。</p> <p>○正しく資料を読み取れるように、教科書で扱っているグラフの読み取りについては一斉で行う。</p> <p>○生徒が課題解決に必要な情報を適切に選択・整理できるように、適宜個別の支援を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目 九州地方の自然環境を生かした産業や取組について、様々な情報を調べ、まとめている。 <スライド(知)></p> </div>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(5分) S：マップにするのは時間がかかるな。 S：友達はどうやっているのか知りたいな。</p>	<p>○活動時間を有効に使うために、個々の判断で本時の振り返りの時間を設定してよいことを伝える。</p>

第3時の学習

- 1 ねらい 九州地方の自然環境を中核に関連する事象をウェビングマップに表す活動を通して、単元の課題に対する自分の考えを表現（考察）することができるようにする。

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分） S：前回の続きからだ。時間内に仕上がるかな。</p> <div data-bbox="172 506 796 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ 九州地方の人々は、自然環境を生かしてどのような取組をしているのだろう。</p> </div>	<p>◎考察に必要な視点を示すことで、自分のマップについて見直せるようにする。</p> <div data-bbox="826 465 1433 712" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>考察に必要な視点（電子黒板掲示） ・自然環境に関わる人々の営みに触れているか（魅力や工夫 課題 解決策 など） ・「見方・考え方」を働かせてまとめているか（学習管理シートの裏面を活用）</p> </div>
<p>2 前時の活動を継続し、ウェビングマップを完成させる。（10分） （★ウェビングマップはGoogle スライドに保存） S：クロームブックでまとめると早いな。 S：みんなはどんな感じで仕上げているのかな。</p>	<p>○余裕をもって考察ができるように、必要に応じて適宜個別にウェビングマップ作成の補助をする。 ○個々の能力に応じて弾力的に時間配分ができるよう指示する。</p>
<p>3 ウェビングマップをもとに単元の課題に対する事象を整理して考察し、自分の考えをまとめる。（30分） （★考察と動画はGoogle スライドに保存） S：文章にまとめるのはやっぱり難しいな。 S：マップがあると書くべき内容が分かるな。 S：撮影は緊張するな。</p> <div data-bbox="204 1364 694 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分を客観的にみる・資料として</p> </div>	<div data-bbox="826 1106 1433 1417" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>☆考え・考察の視点（電子黒板掲示） ① 学習課題に対する答えになっているか ② 自然環境の特色を中心にまとめているか ③ 具体例を挙げて人々の営みや思いについて触れているか ④ 学習したことに対する自分の思いや考えが示されているか</p> </div>
<div data-bbox="172 1435 790 1731" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>☆動画の撮影について ① できあがった生徒から声を掛け合う ② 相手（聞き手）意識をもつ ③ 文章の内容以外のスキルについて考える ④ 責任と自信をもつ ⑤ 他者の発表内容は、すべて尊重する</p> </div> <div data-bbox="199 1756 790 1910" style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>活用するESDの能力・態度 ③多面的・総合的に考える力 ⑦進んで参加する態度</p> </div>	<p>○自分が特に印象に残った地域づくりの取組を選択して考察するなど、個々の能力に応じて考察の内容や分量、方法について助言する。</p> <p>◎自分の学びを客観的に見ることができるように、考察したことを一人一人動画に記録する。（クロームブック）</p> <div data-bbox="826 1756 1417 1910" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>◆評価項目 調べた情報やウェビングマップを基に、自分の考えを組み立てて表現している。 ＜記述（思）＞</p> </div>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。（5分）</p>	<p>○次時の内容について簡潔に伝えとともに、本時の活動について具体的に称賛し意欲をもたせる。</p>


第4時の学習

- 1 ねらい 他者との対話的な活動に取り組む活動を通して、単元の課題に対する理解を深め、自分の考え（考察）をよりよい内容に補完・修正できるようにする。

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>S：みんなはどんな意見をもっているんだろう。</p> <div data-bbox="172 528 799 660"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞</p> <p>意見交換を通して、自分の考察（結論）を「ブラッシュアップ」しよう。（「磨き上げる」の意味）</p> </div>	<p>◎生徒が活動を通して考察の内容をよりよいものに修正できるように、ブラッシュアップの目的・方法を学級全体で共有する。</p> <div data-bbox="823 472 1426 678"> <p>目的と方法（電子黒板掲示）</p> <p>★目的：意見を出し合い、自分の考えをよりよいものにします。</p> <p>★方法：積極的に指摘し合い、取り入れよう。疑問をぶつけあい、一緒に考える。</p> </div>
<p>2 課題に対する考えを他者と共有し、修正や追加を行う。（20分）</p> <p>S：自分では気が付かなかったことを知れたよ。</p> <div data-bbox="164 840 799 1158"> <p>☆考え・考察の視点</p> <p>① 学習課題に対する答えになっているか</p> <p>② 自然環境の特色を中心にまとめているか</p> <p>③ 具体例を挙げて人々の営みや思いについて触れているか</p> <p>④ 学習したことに対する自分の思いや考えが示されているか</p> </div> <div data-bbox="196 1189 815 1346"> <div data-bbox="196 1189 608 1339"> <p>活用するESDの能力・態度</p> <p>①批判的に考える力</p> <p>⑤他者と協力する態度</p> </div> <div data-bbox="608 1249 815 1323"> <p>でも、なぜ、たとえば、もし、</p> </div> </div>	<p>◎多様な考え方や価値観に触れることができるように、班編成を工夫する。 （通常班を解体、前時の内容を見て被らないように新しい3人組で編成）</p> <p>◎活発な意見交流が行えるように、班のメンバーの考察を読み合い、コメントをつける時間を確保する。（班で適宜） ※コメント：賞賛と指摘をバランスよく入れる</p> <p>◎話し合いを通して気付いたことを再構成に生かすために、適宜メモをとるよう指示する。</p> <div data-bbox="834 1173 1426 1357"> <p>◆評価項目</p> <p>他者との意見交流を踏まえて、自分の考えを補完・修正している。</p> <p>＜スライド（思）〔記〕＞</p> </div>
<p>3 話し合い活動を踏まえ、自分の考えを再構成し結論を導く。（20分） （★再構成した考察はGoogleスライドに保存）</p> <p>S：みんなのおかげで書く内容が増えたよ。</p> <p>S：当事者の気持ちは大事だな。</p> <p>S：自分の思いを書き忘れていたよ。足そう。</p>	<p>◎単元で学習してきたことを生かすために、スライドを適宜活用するよう助言する。</p> <p>○生徒自身が再構成の前後での考えの深まりを実感できるように、前時のスライドをコピーしたものに追記する方法で結論をまとめるように指示する。</p> <p>○確認すべき部分を共有するために、生徒の考察を取り上げながらまとめを行う。</p>
<div data-bbox="225 1780 1370 1989"> <p>【全体で共有したい単元の学習課題についての結論の中心部分】</p> <p>九州地方では火山を生かしたエネルギー開発、温暖な気候を生かした農業、大陸に近い利点を生かした産業、南西諸島の島々の魅力を生かした観光業などが盛んである。</p> <p>＋ それぞれについての人々の苦労や課題の解決方法</p> </div>	
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。（5分）</p> <p>S：人前で話すことにだいぶ慣れてきたよ。</p>	<p>○本時の活動の様子について具体的に称賛するとともに次時の内容について簡潔に触れる。</p>

第5時の学習

- 1 ねらい 単元の結論を活用してよりよい社会の実現について議論する活動を通して、身近な地域の在り方について考えられるようにする。

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (5分)</p> <div data-bbox="175 479 802 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞ 九州地方の取組を、他地域（安中市）でも生かしていくためにはどうすればよいのだろうか。</p> </div> <div data-bbox="411 636 507 745" style="text-align: center;">  </div>	<p>◎必要十分な議論が各班で行えるように、議論の視点について学級全体で共有する。</p> <div data-bbox="826 465 1410 745" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">議論の視点（電子黒板掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州地方の取組のよさを確認 ・安中市の強み（魅力）と弱み（課題） ・100年OKな「持続可能な取組」とは ・よりよい社会の実現につながるか？ ・私たちにできることは？ </div>
<p>〔単元の学習課題2〕 （九州地方の取組に学んで…）安中市の自然環境を生かした取組は今後どうあるべきか。</p>	
<p>2 「安中市は今後どうあるべきか」という視点で議論し、提言内容を話し合う。 (30分)</p> <p>S：みんなで知恵を出し合って提言を作りたいな</p> <div data-bbox="172 1115 798 1435" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>☆提言を作成する視点（電子黒板掲示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①安中市の自然環境について述べている ②自然環境を生かした取組の例を挙げている ③現状の課題について述べている ④改善策や新しい取組を紹介している ⑤取組を通して目指す「自然環境を生かしたよりよい安中の姿」が明確に伝わる </div> <div data-bbox="199 1541 802 1704" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>活用するESDの能力・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力 </div>	<p>◎単元で学習してきたことを生かせるように、作成してきたスライドを適宜活用するよう助言する。</p> <p>◎効率よく活動が行えるように、提言につながる視点を全体に示し共有する。</p> <p>◎安中市の魅力を再発見できるように、資料を提供するとともに話し合う時間を十分に確保する。</p> <p>○自由で活発な議論が行えるように、各班に紙やホワイトボードを配布し活用を促す。</p> <p>○円滑に提言が行えるように、方法や手順、分担などについて話し合うよう助言する。</p> <div data-bbox="826 1547 1423 1711" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>学習してきたことを生かして、提言する内容について話し合い、表現している。</p> <p>＜記述（思）＞</p> </div>
<p>3 作成した提言の発信に向けて練習する。 (10分)</p> <p>S：発表は緊張するから練習をしよう。</p> <p>S：この文章表現で聞き手に伝わるかな。</p>	<p>◎よりよい提言が行えるよう試行錯誤し、必要に応じて班同士で指摘し合うなどのアイデアを示す。</p>
<p>4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 (5分)</p>	<p>○主体的に取り組む生徒の姿を具体的に称賛し、次時の活動への意欲をもたせるようにする。</p>

第6時の学習

- ねらい 学習したことを基に今後の安中市の在り方についての考えを発信する活動を通して、持続可能な社会の実現について今後も関心や責任をもてるようにする。

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>S：安中市の魅力をうまく伝えたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜めあて・課題・見通し等＞</p> <p>九州地方の学習を通して考えた「安中市の自然環境を生かした取組」について提言しよう。</p> </div>	<p>○班ごとに最適な活動ができるように、本時の見通しを全体で共有する。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時の流れ（電子黒板掲示）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 提言内容の決定 2 分担の確認・準備 3 リハーサル 4 提言本番（動画撮影） 5 振り返り </div>
<p>2 提言内容の確認をして各班ごとにリハーサルを行う。（5分）</p> <p>S：流れを確認しながらやろう。</p> <p>S：思っていることがみんなに伝わるかな。</p> <p>S：ここの表現、もう少し工夫したいな。</p>	<p>◎班のメンバー全員で「提言」に関わることができるように、発表方法や役割分担、手順などを工夫する。</p> <p>◎全員が当事者意識をもって関われるように、分担などについて適宜支援・助言する。</p>
<p>3 発表会形式で提言を行う（30分） （★提言の文章と動画はGoogle スライドに保存）</p> <p>S：〇〇さんの発言、訴えかけるようでいいな。</p> <p>S：〇〇班は役割分担が明確ですごいな。</p> <p>S：次回は僕もメインで原稿を読みたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>活用するESDの能力・態度</p> <p>④コミュニケーションを行う力</p> <p>⑥つながりを尊重する態度</p> </div>	<p>◎発表者、聞き手双方の立場や意識を体験するために簡易的な発表会形式で撮影（記録）を行う。</p> <p>◎自分たちの主張を発信して感じたことを多くの人と共有できるように、感想を伝え合う時間を適宜設ける。</p> <p>◎生徒が達成感を味わえるように、発表の合間でコメントを送り合えるようにする。</p>
<p>4 単元全体の学習活動を振り返り、単元のまとめを行う。（10分）</p> <p>S：初めてだったけれど、いい経験になったな。</p> <p>S：次回はもっといい内容を提言したいな。</p> <p>S：他のクラスの発表も見てみたいな。</p> <p>S：実際に安中市役所の人に見てほしいな。</p>	<p>◎円滑に振り返りが行えるように、振り返りの方法や注意点について学級全体で共有する。</p> <p>◎単元全体を通した自己の成長に目を向けられるように、全体・個別に称賛やアドバイスをを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目</p> <p>よりよい社会の在り方について、主体的に追究・解決しようとしている。</p> <p>＜活動の様子・動画（態）＞</p> </div>

本資料に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

＜各社の商標＞

・Google スライド